



# せたがや 介護ネットニュース

第58号

発行日：平成29年2月28日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

## 通所連絡会定例会「認知症の医学的理解」報告

平成29年2月14日（火）に世田谷区介護サービスネットワーク主催による『認知症の医学的理解』の研修会を開催しました。通所事業所以外にも施設、居宅など様々な分野の方々の参加があり、40事業所計58人と大勢の方に参加頂きました。

講師は昨年と同様に東京都松沢病院の認知症疾患医療センター医長を務められている新里和弘講師をお招きし、認知症について認知症の種類や特徴、経過、薬などの基礎知識をお話頂きました。

また、認知症の人への対応の心得として、『認知症を悪くするコツ』『上手な介護の12か条』『介護の素質』など家族や介護者の対応の方法で認知症の周辺症状は変化すると同時にお互いがイライラしない様に長く上手に付き合っていかなければならないことなど学びました。

各事業所に持ち帰り参加出来なかった職員にもフィードバックして頂ければと思います。

今回は3月14日（火）19:00～21:00 成城ホール集会室C・Dにて情報交換会を開催致します。

『デイサービスがこれから対応すべき課題』

- ・世田谷区における総合事業の提供状況は
- ・地域密着型通所介護の運営推進会議の開催等

世田谷区介護保険課 鈴木努係長（予定）から「総合事業」について又、2018年度の法改正を見据えたデイ



サービスに必要な対応をお話いただく予定です。

また、各テーブルに分かれ事業所間での情報交換する時間もあるので、沢山の事業所の参加をお待ちしています。

通所連絡会では幹事職員が不足しており、随時募集しております。介護保険情報などをいち早く知る事もでき、他事業所と交換する機会も持てますので、ご興味ある方は是非お声を掛けていただければと思います。

優っくりデイサービス喜多見

遠藤美輝

## 第7回 砧地域ご近所フォーラム2017

わたしから ひろげよう 地域のわ～顔の見える関係づくり～

日時：平成29年3月18日（土）12:30～16:00

場所：成城ホール（成城6-2-1）

主催：砧地域ご近所フォーラム2017実行委員会

世田谷区介護サービスネットワーク後援

展示：砧地域の5地区の住民等の取り組みや医師会・歯科医師会・薬剤師会等の後援団体の取り組み

発表と意見交換：5地区の住民等の取り組みと意見交換

懇親会（16:30～18:30）：2000円

平成29年2月16日に開催した世田谷区介護サービスネットの烏山地域部会第3回定例会「自立支援協議会との交流会」:「65歳の壁って何？」という地域の勉強会に参加してきました。

「65歳の壁」というのは、障害の人が65になると介護保険を使うようにという方向になるけれど、使えるサービスや負担の問題や「そもそも介護保険と同列にできるのか」といった問題もあり、なかなか難しい、という壁です。とはいえ、介護を受けるようになった親が、障害のある子どもと同居しているケースや、その逆のケースも増えているのに、現状では障害と介護は縦割り状態なので「家族単位」での支援はありません。世田谷区は「地域包括ケアの”世田谷モデル”」として、相談窓口を一緒にし、しかも来年の介護保険制度改定に向けて、事業所が障害と介護の両方を新規にやる方向を進めるなどをしているが、現状はどうか、ということも含め、この勉強会では70人以上が集まって、意見交換をしました。

グループワークでは、地域包括の職員やケアマネ、障害+介護事業所の職員、介護事業所の職員がいて、地域包括からは、「障害の人の相談はほとんどない」「あっても担当部署に案内するだけ」「障害担当はいない」「ずっと介護でやってきたので、障害に関してはフォローできる職員がいらない」などの現状を聞き、他の参加者からも「障害の制度がわからない」「お互いに勉強会はやっているが交流がまったくない」「区の窓口が勉強してなくて、相談しても頼りにならない」などの意見が出ました。制度的な「65歳の壁」だけでなく、「専門職間の壁」「障害に対する意識の壁」「行政の縦



割りの壁」が明確になったことは、とても興味深いことでした。

この日は主催者に頼んで、新座市のNPO「えん」の小島美里さんを、急きょゲストで呼んでもらいました。小島さんは障害者の支援活動から始まり、現在は障害者と高齢者の利用者を100人ずつ以上抱え、居宅事業、認知症グループホーム、小規模多機能、グループリビングを運営しています。

「高齢者と障害者支援の統合は、すでに始まっている」というタイトルで、小島さんは「地域共生社会実現本部」の動きにふれ、「共生社会にする」こと自体は、自分もこれまでやってきたことなので、進展してほしいが、その裏にある財務省主導の「金目」の方向（障害の介護保険への統合）について、もっと危機感もってほしいと発言。介護保険負担の対象を20歳以上に引き下げよう、という議論も始まっていると報告しました。参加者にとっては意見交換会の刺激的な締めくくりになったのではないかと、思います。

ノンフィクションライター 中澤まゆみ

## 耳障りな言葉

最近、日常生活やテレビ、ラジオで使われている言葉や表現に不快を感じるが多くなった。「味にこだわった店」といった表現をよく見かけるが、「こだわる」は拘泥と書き、「つまらないことに拘泥する」など使うのが基本である。「味を追求した店」という意味で使うなら「こだわる」や「拘り」は使わないでほしい。

同様に、「癒やしの宿」のように「癒やし」や「癒やす」も頻繁に使われるようになったが、「癒やし」は音で「卑しい」を連想し、やはり不快感を与える。

自分の妻を「うちの奥さん」と呼ぶ若者が多くなったことも問題である。妻は身内であり、身内に対して敬語を使うということは相対的に話し相手を下げていることを意味する。家庭内での力関係を反映しているのだろうが、外に内の力関係を露出するのはいただけない。

以前に敬語の問題についてコラムで書いたが、敬語は

取り扱いが難しい。今の東京は全国各地の言葉が混じり合っており、かつての東京地域で使われた敬語を再現しようと思ってもなかなか受け入れられそうにない。ただし、現在を生きる高齢者にとって「こちよい」言葉と表現は歴然と存在していると思う。機会があればかつて東京地方で使われていた（今も使っている人はたくさんいる）気の利いた言葉や表現をできるだけ多くの若者に継承したいと思う。「心地よい言葉遣い」は人とひとの垣根を取り除く重要な働きがある。

「高齢者とのコミュニケーション力」を要求される介護職に向けた敬語の基本や東京の言葉についてまとめるのが今年の夢である。

NPO わかば 辻本きく夫

## 世田谷地域部会「第2回介護ワーカーズアピール10」開催

平成29年2月23日(木)に世田谷文化生活情報センター生活工房5階セミナールーム(三軒茶屋キャロットタワー)にて、世田谷地域部会を開催しました。24事業所、31名の方が参加してくれました。

今回の発表は、(株)JICC(定期巡回・随時対応訪問看護介護)、パナソニックエイジフリーショップ世田谷(福祉用具)、ソルシアス上用賀(通所介護)、訪問介護ナイスケア世田谷(訪問介護)のサービス事業所が4か所と「せたカフェ」、「チーム三茶」の地域連携の2グループが各10分程度で発表してくれました。

事業所発表では、どのようなサービスを提供しているか、事業所の特徴や取り組んでいることなど写真や資料を使いながらわかりやすく説明してくれました。中には美男美女ばかりのスタッフを顔写真付きで紹介してくれたり、実際にサービス提供している体操を紹介してくれたり、普段なかなか見えないことがたくさんありました。

地域連携のグループの発表では、地域包括ケアに向けて事業所だけではなく地域住民や事業者、医療従事者など様々な人たちの連携が必要になってきていること、また、現在の取り組みと今後の展望を発表してくれました。自分たちは何ができるのか、ということを考えるととてもいい機会になったと思います。

その後には世田谷区の介護予防・日常生活支援総合事業の世田谷区とサービス事業所の意見交換会の報告をしました。まだまだ課題は多いですが、世田谷区介護サービスネットワークとして、世田谷区と協議していきたいです。

最後に参加者全員にマイクを回して、自己紹介と意見情報交換をしました。その中でも、多職種連携や地



域連携の必要性があると、意見が出ました。

世田谷地域部会では今後も参加者同士が顔の見える関係を作れるよう、活動していきたいと思っています。みなさまどうぞご協力ください。

世田谷地域部会 徳永宣行

### 研修会のお知らせ

#### 新・処遇改善加算をはじめとする『デイサービスがこれから対応すべき課題』

説明 世田谷区介護保険課 鈴木努 係長

- ★世田谷区における総合事業の提供状況は？
- ★地域密着型通所介護の運営推進会議の開催は？
- ★新・処遇改善加算の要件と実務の実際は？
- ★3割負担になる方はどれくらい？

平成29年3月14日(火曜日) 19:00-21:00

会場：成城ホール集会室 CD 入場無料 事前申込  
定員：90名(1事業所1,2名、定員を超過した場合は申込先着順とさせていただきます。その場合は、事務局よりご連絡いたします)

★お問合せ先：世田谷区福祉人材育成・研修センター  
TEL:03-5429-3100

総合事業や法改正など、まだまだ知りたいことやわからないことがたくさんあります。この4月に改定が行われる処遇改善加算に加え、2018年度の法改正を見据えた、デイサービスに必要な対応について、区の担当者を交え、事業者間での情報交換を行います。







【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

(玉川総合支所)

◆【福祉用具連絡会】☆

福祉用具大展示会

平成 29 年 3 月 10 日 (金) 12:00～18:00

会場：世田谷区民会館集会室

テーマ：褥瘡予防のための福祉用具

\*車イス等の福祉用具もたくさん展示します。

\*電動車イスに試乗できます。

◆【通所連絡会】☆ (再掲)

処遇改善加算をはじめとする「デイサービスがこれから対応すべき課題」(情報交換会)

平成 29 年 3 月 14 日 (火) 19:00～21:00

会場：成城ホール集会室 C・D

(話題として)

- ・世田谷区における総合事業の提供状況は
  - ・地域密着型通所介護の運営推進会議の開催等
- 世田谷区介護保険課 鈴木努係長から・世田谷区における総合事業の提供状況・地域密着型通所介護の運営推進会議の開催・新・処遇改善加算の要件と実務の実際・3割負担になる方はどれくらい、などのお話いただく予定です。

◆【訪問介護連絡会】☆

第 3 回定例会「30 年度制度改正に向けて訪問介護が対応すべき課題は」

平成 29 年 3 月 23 日 (木) 18:30～21:00

(途中入退場可)

会場：梅ヶ丘パークホール

内容：・処遇改善加算の変更について

- ・新総合事業はどうなるか？
- ・混合サービスとは？
- ・訪問事業所連携の情報共有

\*区介護保険課事業者支援担当の鈴木係長からコメントをもらいながら、一緒に考える企画です。

◆【玉川地域部会】☆

第 1 回交流会

平成 29 年 3 月 15 日 (水) 19:00～

会場：玉川区民会館第一会議室

会費：2,000 円/人

\*事業所の PR タイムもあります。

\*一杯やりながら情報交換をします。

◆【地域部会調整小委員会】☆

5 地域部会 活動報告会

～発足から 2 年！ 地域部会の活動とあゆみ～

平成 29 年 3 月 29 日 (水) 18:45～21:00

会場：三茶しゃれなあどホール オリオン

内容：世田谷、北沢、烏山、砧、玉川の 5 地域毎に活動を初めて 2 年。それぞれの地域の活動について情報を共有し、今後の地域活動について考えます。

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

1) 地域包括支援センター職員研修【共通】介護予防の推進に向けて

平成 29 年 3 月 1 日 (水) 14:00～17:00

会場：烏山区民会館集会室

3) 【課題別研修】

「介護職が行うストーリーマケア 知識と実践」

平成 29 年 3 月 15 日 (水) 14:00～17:00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。

◆第 7 回 砧地域ご近所フォーラム 2017

わたしから ひろげよう 地域のわ～顔の見える関係づくり～ (再掲)

日時：平成 29 年 3 月 18 日 (土) 12:30～16:00

場所：成城ホール (成城 6-2-1)

主催：砧地域ご近所フォーラム 2017 実行委員会

世田谷区介護サービスネットワーク 後援

展示：砧地域の 5 地区の住民等の取り組みや医師会・

歯科医師会・薬剤師会等の後援団体の取り組み

発表・意見交換：5 地区住民等の取り組みと意見交換

懇親会 (16:30～18:30)：2000 円

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月偶数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

編集後記

◆人事異動の時期が近づき、なんとなく落ち着かない人も多いことと存じます。世田谷区では今年から「合同入職式」というのを始めるそうです。世田谷区内で務める介護、福祉職に長く努めても

らうため、区長が激励するという企画のようです。

◆新総合事業はあまり機能していないようすが、地域力をつけて世田谷の福祉の向上を目指したいと思います。(K.T)

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団  
世田谷区福祉人材育成・研修センター  
電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101